

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

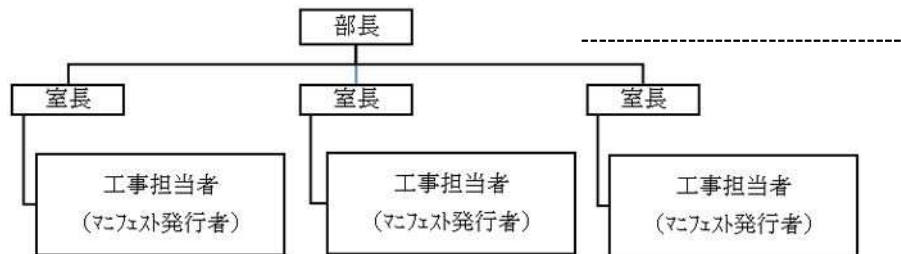
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 7 月 1 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 愛知県刈谷市熊野町 3-3-9	
氏 名 株式会社エスケイエム	
代表取締役社長岡田耕二	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0566-27-5233	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	株式会社エスケイエム
事業場の所在 地	愛知県刈谷市熊野町 3-3-9
計画期 間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種 類	06：総合工事業、95：その他の事業サービス業
2 事業の規 模	売上高：9,930 百万円
3 従業員 数	972 名（平成 31 年 3 月 31 日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事（建物、工場の床、その他） がれき類：再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず： 再生処理業者に委託してチップとして再資源化 建設系混合：中間処理業者に委託して選別、再資源化および最終処分 廃プラスチック： 中間処理業者に委託して選別、再資源化および最終処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状

【前年度（ 30 年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙参照	
排出 量	t	t

(これまでに実施した取組)

- ・ 廃棄物の種類ごとの分別徹底
- ・ 工事から排出された廃棄物へ作業員の生活系廃棄物の混入防止

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙参照	
排出 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

- ・ 現状の取組を継続的に実施
- ・ 工事企画時のリサイクル率向上

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・ 分別しリサイクルの実施

	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・更に分別を細分化することによるリサイクル率向上
--	-----	---

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

1 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	対象無し	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	対象無し	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

1 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	対象無し	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	対象無し	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t

		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1 現状	【前年度（ 30 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	対象無し		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	対象無し		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 現状	【前年度（ 30 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	全処理委託 量	t		t
	優良認定処理業者へ の 処理委託 量	t		t
	再生利用業者へ の 処理委託 量	t		t

			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組) ・可能な限りリサイクル業者へ委託 ・リサイクル業者を選定して委託			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託 量	t	t
	再生利用業者への 処理委託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組を継続的に実施		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物の処理と環境に配慮																					
①現状	【前年度(30年度)実績】																				
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥	廃塗料	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	がれき類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物	安定型建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	混合廃棄物(水銀使用製品)	引火性廃油	廃酸	混合(金属・廃フ)	合計
	排出量(t)	168.54	21.758	12.0602	0.87	2.4456	10.15	0.55	34.13	397.09	1200.73	4	0.91	49.8648	22.376	6.3	1.2466	0.019	0.11	1.17	1934.3202
②計画	【目標】																				
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設汚泥	廃塗料	廃油	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	アスファルト・コンクリート破片	コンクリート破片	がれき類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	混合廃棄物(水銀使用製品)	引火性廃油	廃酸	混合(金属・廃フ)	合計
	排出量(t)	100	10	10	2	2	10	20	20	420	1500	5	10	50	30	5	1	2	2	1	2200

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]